資料2-1

議題２　事業者向けインターンシップ制度関連の事業について（蒲郡市提出）

市名	回答					
	（１）インターンシップ制度関連の事業を実施しているか	（実施している場合）（２）から（５）を記載				
		（２）事業概要 （目的、補助対象者、支援内容等）	（３）事業の実績 （参加事業者数・インターン生数など）	（４）事業実施上の課題・工夫点	（５）事業者又はインターン生へのアフターフォローの有無	（有の場合） 詳細を記載
名古屋市	実施していない					
豊橋市	実施していない					
岡崎市	実施していない					
一宮市	実施していない					
瀬戸市	実施している	瀬戸市内企業連携インターンシップ 目的：市内企業へのインターンシップ導入支援 補助対象：市内の中小企業 支援内容：市内企業（4社）と連携した4日間の集中インターンシップと市内散策を行う5DAYS INTERNSHIPを実施。名古屋産業大学の参画を得てインターンシップのプログラム作成支援を行うとともに、学生募集、各企業までの学生の送迎を実施。	令和５年度：参加事業者４社・インターン生２名 令和６年度：参加事業者４社・インターン生６名 令和７年度：参加事業者４社・インターン生８名（予定）	課題：学生の参加者確保・参加企業単独でのインターンシップ実施への移行 工夫点：名古屋産業大学の参画を得ることにより、インターンシップの専門家の助言を受けながら事業を実施。令和7年度は瀬戸市が名古屋産業大学から長期のインターンシップ受入を実施し、当該事業を主体的に担ってもらうことで、学生の目線を取り入れている。	無	
半田市	実施していない					
春日井市	実施していない					
豊川市	実施していない					
津島市	実施していない					
碧南市	実施している	市内企業でインターンシップを行う大学生等に対して、市内宿泊施設の宿泊料の一部を補助。 1,500円／1泊（上限60泊）	令和6年度実績　2社6人　130泊195,000円	遠方からのインターンシップを受け入れる企業が少なく、制度の利用が限定的となっていること。	無	－
刈谷市	実施していない					
豊田市	実施している	・事業名：地域企業の課題解決型インターンシップ（委託事業） ・目的： ①【企業支援】採用力の向上のため。 ②【働き手支援】学生が自分の興味や想いに気づく機会や自信・実績獲得の機会を提供のため。 ・対象者：市内企業５社および市内外の大学生・大学院生等１５名程度 ・支援内容：インターンシッププログラムの企画・検討、実施にあたっての伴走支援、学生の送り出し	市内企業５社および市内外の大学生・大学院生等１５名	・課題①：インターンシップの実施時期について学生と企業との日程調整が難航したこと（約１カ月１回出社で見込まれる成果物が限られている） ・工夫点①：参加学生の集客の視点で有償型インターンシップにしたこと	有	プログラムの実施後、企業・学生同士のネットワークを構築するため報告会を兼ねた交流会を実施することで、フィードバックのための機会を提供

議題２　事業者向けインターンシップ制度関連の事業について（蒲郡市提出）

市名	回答					
	（１）インターンシップ制度関連の事業を実施しているか	（実施している場合）（２）から（５）を記載				
		（２）事業概要 （目的、補助対象者、支援内容等）	（３）事業の実績 （参加事業者数・インターン生数など）	（４）事業実施上の課題・工夫点	（５）事業者又はインターン生へのアフターフォローの有無	（有の場合） 詳細を記載
安　城　市	実施していない					
西　尾　市	実施している	目的：市内中小企業のPR、採用後のミスマッチ及びリアリティギャップの解消 対象者：市内の高等学校に通う生徒 支援内容：夏休みなどの長期休暇期間を利用して、生徒が自ら見学先を選び市内の中小企業を見学する「生徒選択型会社見学」を実施している。	R6年夏休み：企業73社に対して延べ380名の生徒が見学を実施 R7年春休み：企業40社に対して延べ277明の生徒が見学を実施	課題：参加企業数が増加してきているため、生徒の希望とのマッチング作業の事務負担が大きくなっている。 工夫点：これまでのインターンと比較して、一度に複数の企業を見学できることが強み。また、企業募集やマッチング作業などの事務作業を市で実施しているため、学校側の事務負担が軽減される。	無	
蒲　郡　市	実施していない	提出市です。				
犬　山　市	実施していない				無	
常　滑　市	実施していない					
江　南　市	実施していない					
小　牧　市	実施している	小牧市次世代産業インターンシップ受入助成金 次世代産業関連企業の積極的なインターンシップの受入れを促進し、産業人材の育成、将来的な雇用確保等につなげ、もって次世代産業の推進を図ることを目的として、市内に製造拠点等を有する次世代産業関連企業のインターンシップの受入れに要した費用の一部を助成する。 ・助成事業で受け入れた学生1人につき1日当たり8,000円 ・1助成対象者につき1年度当たり96,000円	・令和4年度実績・・・事業者数　延べ8社、インターン生数　19名 ・令和5年度実績・・・事業者数　延べ10社、インターン生数　17名 ・令和６年度実績・・・事業者数　延べ8社、インターン生数　21名	市内の次世代産業関連企業への積極的な企業訪問等を行い、当該助成金の活用によるインターンシップの受入れを促している。	有	助成金を活用した企業に対し、定期的に企業訪問し、学生の採用に効果的であったか等のヒアリングを行っている。
稲　沢　市	実施していない					
新　城　市	実施していない				無	
東　海　市	実施していない					
大　府　市	実施していない	－	－	－	無	
知　多　市	実施していない					
知　立　市	実施していない					

議題２　事業者向けインターンシップ制度関連の事業について（蒲郡市提出）

市名	回答					
	（１）インターンシップ制度関連の事業を実施しているか	（実施している場合）（２）から（５）を記載				
		（２）事業概要 （目的、補助対象者、支援内容等）	（３）事業の実績 （参加事業者数・インターン生数など）	（４）事業実施上の課題・工夫点	（５）事業者又はインターン生へのアフターフォローの有無	（有の場合） 詳細を記載
尾張旭市	実施している	・学生に業界・企業研究を深める場を提供するとともに、地元企業の魅力を対面で伝える場を提供し、地元企業就職の促進を図ること。 ・大学2・3年生 ・参加企業によるプレゼン・企業交流会での企業概要・業界情報・インターンシップ（オープンカンパニーを含む）の内容説明。	参加事業者数：10社（尾張旭市4社、瀬戸市6社） 参加者：23名（大学3年生18名、大学2年生5名）	・２月下旬の開催であったが、大学３年の参加が多かったため、開催時期を早めるなど検討が必要。 ・企業への訪問数の偏りを防ぐため、募集時点で学生が興味のある企業を把握し、初めに訪問する企業を指定した。	無	
高浜市	実施していない					
岩倉市	実施している	市、商工会と市内金融機関で構成する地域産業活性化推進協議会の事業として高校生のインターンシップ派遣を行う事業を実施している。 【目的】 高校生が市内の中小企業でインターンシップを行うことで、事業所を知ってもらうきっかけや将来の就職先に加わることを期待するとともに、企業側が若者を採用する際のノウハウを構築する。 【対象】 市内事業所 【支援内容】 インターンシップ受入れ先募集に関する事業の周知と参加希望の取りまとめ。	令和６年度 参加企業：17社 派遣人数：61人	一般社団法人と連携して行うことで安定的にインターンシップを希望する高校生を確保し、企業に募集をかけている。	無	
豊明市	実施していない	－	－	－	無	
日進市	実施していない				無	
田原市	実施していない					
愛西市	実施していない				無	
清須市	実施していない					
北名古屋市	実施していない					
弥富市	実施していない					
みよし市	実施していない					
あま市	実施していない				無	
長久手市	実施していない					